

授業科目：口腔細菌学，細菌学

担当教員：今井 健一，田村 宗明，神尾 宜昌，田中 一

授 業 の ね ら い	<p>歯の喪失の主な原因がう蝕から歯周病へと大きく変化しつつある。また，歯周病がさまざまな難治性全身疾患の誘因となることも明らかとなってきた。高齢化社会を背景に，歯科医療は大きく変わり，口腔から全身を診ること，および全身の情報を基に歯科医療と患者支援を行うことが求められる時代となった。Evidence-based Medicine の実践および医科歯科連携の推進には，全身疾患に最も深く関わっている微生物学・免疫学の知識と研究の推進が不可欠である。</p> <p>本講座では，感染を「生命間の相互作用」と考え，「宿主-寄生体相互作用」研究に加え，「細菌-ウイルス相互作用」という新たな視点から研究を進めている。将来自ら研究活動を行えるよう，下記研究テーマの実施を通して，実験方法は勿論のこと研究者としての考え方を学んでもらう。「広い視野を持つとともに，深く考え探求する姿勢」が必須で，疑問を自力で解決する過程の経験と努力が大きな意味を持つと考える。</p>
テ ー マ	<p>テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 細菌-ウイルスの微生物間相互作用による歯周疾患発症機序の解明</li><li>2. 口腔疾患および加齢を誘因とする全身疾患（肺炎，COPD 及びがん等）発症機序の解明</li><li>3. 疾患発症における潜伏感染ウイルス再活性化機序の解明</li><li>4. 高齢者および周術期における全身疾患予防法としての新規口腔ケア法の開発と臨床応用</li></ol>
内 容	<p>内容：</p> <p>以下の基礎知識と技術を修得する。</p> <p>基礎知識：科学論文検索と論文の読み方，論文の構成と要点の捉え方 学会発表の基礎，論文投稿の実際，感染・免疫研究の最新情報</p> <p>基礎実験法：細胞培養法と <i>in vivo</i> 実験の基礎 分子生物学および免疫学的実験法の基礎と応用 無菌操作および微生物学実験の基礎</p>
成 績 評 価	<p>成績評価：</p> <p>研究への取り組み，実験の立案と遂行，学会発表および論文作成能力等から総合的に行う。</p>
そ の 他	<p>その他：</p> <p>テーマに関連した英語文献を随時参照する。</p>